



ふきのとう 文庫だより

昭和48年1月13日第三種郵便物承認

HSK通巻番号600号

発行 令和4年3月10日

毎月10日発行 一部100円

編集 〒060-0006

札幌市中央区北6条西12丁目8番3

公益財団法人ふきのとう文庫

電話 (011) 222-4839

FAX (011) 222-4800

発行人 北海道障害者団体定期刊行物協会

細川久美子

「ふきのとう子ども図書館開設四十周年」

公益財団法人ふきのとう文庫 代表理事 高倉嗣昌

東京出身の当文庫創設者小林静江が、夫君の北海道転勤で在道することとなった時、丁度幼少期から寝たきり状態だった妹さんの他界に遭遇したことで、新居の江別市で始めた子ども文庫を、障がい児のための専用文庫にしました。今日の当文庫活動に魂を入れたと考えられる記念すべき出来事であり、その年が一九七〇年でした。

以後、長期入院児へのベッドサイドの「読み聞かせ」から日本初の「病院文庫」を創設しました。その過程で出合った「布の本」を素材として「障害をもつ子どもと本の会」を結成し、創意工夫の上、日本で初めて組織単位で布の本を製作するようになりました。

布の本の製作グループが手づくりしたものを、教育・福祉分野のいろいろなルートを通じて社会に普及させていくことが主目的となったのです。

布の本づくりには、多くの製作用具や材料を必要とします。今日も全国で数ある布の本の製作グループの悩みの種になっているのは、それらを常に備え保管して、製作者に提供する条件を整えることです。材料・道具を持ち帰って作業し、それを持ち寄るにしても、何時でも対応できる固定した保管場所と工房の存在が重要です。

布の本の新作への取り組み、その保管や既存の布の本の需要増への対応等で、自前の製作室を持つことが不可欠になりました。そこで当文庫単独の子ども図書館づくりが構想され、その実現に向けて諸々の取り組みがなされました。

多くの苦労や曲折を乗り越え、まず「ふきのとう文庫」を財団法人化し、建物の新築に漕ぎ付け、成功することができたのは、それを構想してから十年を経た後でした。多くの人々のご支援を結集させて、札幌市西区平和の地に「ふきのとう子ども図書館」が開設されました。一九八二年六月六日のことです。

これで図書館活動として機能していく明確な拠点を得たのですが、この図書館はJR札幌駅から直線で西へ七キロの山間部にあり、市中の図書館の立地条件としては良好とは言えず、実際は布の本の製作拠点・展示場の役割が主目的だったように思われます。

図書館開設と時を同じくして「弱視」の子ども向けに加工した「大きな字の本(拡大写本)」の製作も導入され、社会福祉的な面の役割の強化も図られています。

製作活動の安定的継続により、これらの本や遊具が大きく蓄積され、閲覧や貸出等が日常的に可能になりました。図書館を舞台として、障がいを持った子ども達と一般の子ども達が、布の本や布の遊具を通じて分け隔てなく遊び交流する場となることを主目的にできるようになりました。

図書館内に専用の工房が常設されている、国際的にもユニークな私立バリアフリー子ども図書館が誕生しました。

およそ十年前市中中の図書館としては格段に立地条件のよい札幌市中央区の現在地に移転して来て、図書館機能が大きくなった今でも、図書館開設時の枠組は変わることなく継続され、二〇二二年に四十周年を迎えました。

二〇二〇年は「活動開始五十周年」に当り、当文庫の存在を改めてPRする絶好の機会だったのですが、「コロナ禍」で文庫だより記念号以外殆ど何もできませんでした。

「図書館設立四十周年」の本年も「コロナ禍」で不透明ですが、何らかの記念行事の設定を考えております。これを新たなステップとして、信念を持って先代の思いを受け継いで行きたいと思っております。どうかよろしくお願い致します。

令和4年度の事業及び収支計画について

一、事業活動については、一昨年からの新型コロナウイルス騒動が増幅し、昨年度もほとんどの事業が不十分のままで経過しましたが、今年度は昨年同様の計画を引き継いでいきます。また、今年は図書館開館四十周年にあたり、記念の行事なども予定しています。

二、令和4年度の収支計画については、収入面で賛助会費は昨年とほぼ横並びの金額を計上しました。寄付金・助成金は実情を踏まえ算定しています。
今年度は支出の部では収入の減にともない、各事業費を縮減せざるを得ない状態です、で、厳しい予算計画を立てています。

令和4年度 事業計画

- 一、子ども図書館の運営
 - ① 子ども図書館の整備と貸出し
 - ② 病院文庫（北大病院）の継続
 - ③ 貸出し本の未返却防止作業継続
 - ④ 子どもたちとの交流を大事に
- 二、布の本の製作
 - ① 貸出し用・販売用の布の本・遊具の製作
 - ② 布の本・遊具の材料セットの製作
 - ③ 既存布の本の修理
 - ④ 病院内の図書コーナーへの貸出し・寄贈
 - ⑤ 布の本購入先からの依頼による修理・修復
- 三、拡大写本の製作
 - ① 拡大写本の製作と貸出し
 - ② 弱視児童への拡大漢字本製作及び寄贈
 - ③ 拡大図書の視覚支援校への配本

令和4年度 収支計画

(単位 千円)

	令和4年度	令和3年度
賛助会費	2,500	2,600
寄付金	2,000	3,000
助成金	2,000	1,500
事業収入	2,000	1,600
雑収入		
収入合計	8,500	8,700
管理費	5,800	5,830
事業費	2,700	3,100
支出合計	8,500	8,930
収支差益	0	▲ 230

- 四、子ども催事事業

定例のおはなし会、うたう会、手づくり遊び人形劇、クラシックの演奏会など
- 五、布の本・拡大写本等の普及活動
 - ① 製作講習会の開催(布の本のみ)
 - ② ふきのとう文庫ホームページの活用
 - ③ ふきのとう文庫パンフレットの作成活用
 - ④ 多目的室での展示会の開催
- 六、機関誌の発行

① ふきのとう文庫だよりの発行(年三回)七月・十一月・三月
- 七、賛助会員の拡充

① 賛助会員の拡大募集(機関誌・展示会・イベント・来館者)
- 八、ふきのとう図書館、開設四十周年記念行事

活動範囲を検討し、実行する

新しい拡大写本できました。

- 魔法使いのチョモチョモ (全3冊)
- 遊園地の妖怪一家 (全3冊)
- リリちゃんのふしぎな虫めがね
- みてろよ! 父ちゃん!!
- 本気でやればなんでもできる!?
- こやぶ医院は、なんでも科
- こちらゆかいな窓ふき会社
- 世界一の三人きょうだい (全2冊)
- ドラえもん プラス5 (全2冊)
- わたしの空と五・七・五 (全3冊)
- はるかちゃんが手をあげた
- いのちをいただく
- ビロードうさぎ
- ひみつのきもちぎんこう

- 寺村 輝夫 作
- 富安 陽子 作
- 最上 一平 作
- くすのき しげのり 作
- ジョン・ヨーマン 作
- 柏葉 羊子 作
- ロアルド・ダール 作
- グードルン・メプス 作
- 藤子・F・不二雄 作
- 森埜 こみち 作
- 服部 千春 作
- 内田 美智子 作
- マージェリイ・ウィリアムズ 作
- ふじもと みさと 作

賛助費、寄附、寄贈で芳名・行事一覧

2021年11月以降賛助会費納入一覧

安藤 淑子	伊藤 静雄	運上 敏明
尾崎真知子	上條 尚子	菊池 篤子
古賀 恭子	齊藤トキ子	佐々木扶美子
頭川 恵子	鈴木美穂子	高倉実枝子
田辺 敏子	長塚りえ子	濱崎 京子
原田 宏子	平岡佳代子	広田まゆみ
福田フミノリ	藤田 宮子	森永美恵子
手作り布絵本サークルどんぐり・水野美津子		
北海学園大学同窓会		

2021年11月以降寄附金納入一覧

青山 誠	市川亜由美	和泉 尚吾
江口 郁子	大庭カヲル	奥野 和弘
金沢 幾子	川守田京子	工藤満希子
熊野 清子	栗原 博子	佐々木扶美子
高下 圭一	小間海多喜子	長塚りえ子
古川 順子	前田 妙子	山崎 伊代
吉川 秀樹	和野 徳子	
株式会社 偕成社		
生活クラブ共同組合		
第一生命労働組合札幌総合営業職支部		
ふきのとう文庫図書日曜係10名		
ふたご座・島山 珠恵		
ラウンジ・わ		

2021年11月以降寄贈一覧

10月25日	童心社	児童書	1冊
11月7日	童心社	児童書	1冊
11月10日	イオン環境財団	児童書	1冊
11月21日	童心社	児童書	1冊
11月24日	日本即席食品工業協会	図鑑	1冊
11月28日	長崎 和枝	児童書	1冊
		書籍	2冊

行事一覧

11月30日	池田 育子	絵本	41冊
12月5日	早勢 恵美	絵本	切手多数
12月15日	和野 徳子	絵本	6冊
12月17日	染原 正民	絵本	7冊
12月22日	学研プラス	絵本	1冊
12月26日	佐藤 晨	フェルト他多数	
12月27日	偕成社	絵本	1冊
1月7日	学研プラス	児童書	1冊
2月7日	童心社	児童書	1冊
2月21日	偕成社	絵本	1冊
2月28日	市立札幌大通高等学校	絵本	1冊
11月5日	(ほっとたいむ)		
11月16日	運営会議		
11月19日	(ほっとたいむ)		
11月21日	おはなし会		
11月28日	井上美豊子と楽しもう!		
12月3日	(ほっとたいむ)		
12月12日	楽器で楽しもう		
12月14日	運営会議		
12月17日	(ほっとたいむ)		
12月19日	おはなし会		
12月22日	北海道福祉大学校	8名見学	
12月27日	1月8日		
1月7日	年末年始休館		
1月9日	(ほっとたいむ)		
2月6日	開館		
2月6日	止の為		
2月15日	理事会・運営会議		
2月18日	(ほっとたいむ)		

子どものためのもよし

予定表

2022年度上半期

4月3日(日)13時30分	ヴァイオリンで楽しもう
10日(日)13時30分	うたう会
17日(日)13時30分	おはなし会
5月1日(日)13時30分	リトミックで楽しもう
8日(日)13時30分	札幌シンフォニエッタ
15日(日)13時30分	おはなし会
22日(日)13時30分	井上美豊子と楽しもう!
6月5日(日)13時30分	リトミックで楽しもう
12日(日)13時30分	うたう会
19日(日)13時30分	おはなし会
26日(日)13時30分	アンサンブル・フラテ演奏会
7月3日(日)13時30分	小学生のための語りの会
10日(日)13時30分	うたう会
17日(日)13時30分	おはなし会
24日(日)13時30分	腹笑い会
8月21日(日)13時30分	おはなし会
28日(日)13時30分	井上美豊子と楽しもう!
9月4日(日)13時30分	南米楽器で楽しもう
11日(日)13時30分	うたう会
18日(日)13時30分	おはなし会
25日(日)13時30分	人形劇 ひよっこ



ふきのとう子ども図書館 TEL 222-4839

子どものためのもよし

予定表

2022年度下半期

10月16日(日)13時30分	おはなし会
23日(日)13時30分	手づくり遊び
11月6日(日)13時30分	小学生のための語りの会
20日(日)13時30分	おはなし会
27日(日)13時30分	井上美豊子と楽しもう!
12月11日(日)13時30分	うたう会
18日(日)13時30分	おはなし会
1月15日(日)13時30分	おはなし会
29日(日)13時30分	手づくり遊び
2月12日(日)13時30分	うたう会
19日(日)13時30分	おはなし会
3月5日(日)13時30分	手づくり遊び
12日(日)13時30分	ヴァイオリンで楽しもう
19日(日)13時30分	おはなし会
26日(日)13時30分	井上美豊子と楽しもう!



ふきのとう子ども図書館 TEL 222-4839

浪花顧問を偲んで

「ふきのとう文庫活動」に大変ご尽力をたまわった当文庫元副理事長（退任後は顧問）浪花正雄さんが、去る二〇二一年十二月十一日異物性肺炎のため逝去されました。九十三才でした。

浪花さんは、一筋に教育の道を歩まれ、最後は道立高校の校長を務められました。（当文庫評議員相原靖さんは卒業生）。

専門科目は音楽でした。元々ボランティア精神旺盛の方で、退職後の札幌市西区平和にお住まいの時には、近くの高齢者施設で十年以上にわたり、「音楽療法」の視点から高齢者と接して来られたのです。

そんなおり、同じ町内で、「ふきのとう子ども図書館」で開かれていた子ども向けの「うたう会」の存在を知り、当時のボランティア（現評議員）だった斉藤迪子さんの誘いに応ずる形で様子を見に来られたのをきっかけとして、当文庫の活動「拡大写本」製作グループに加わって下さいました。

「拡大写本づくり」に限らず、たちまち行動力を発揮し、運営全般にわたって活動して下さるようになりました。

二〇〇一年から評議員、二〇〇四年、理事長交代（小林↓高倉）時の新体制作りに力を

注がれ、同年から二〇二二年までの八年間、副理事長を務めていただきました。

直接目に見えるものでは、文庫に入る道の看板づくり、図書館前の道路整備、劣化してきた建物の補修作業、更には来館者に配る当文庫のパンフレット、リーフレットづくりなどがあります。

何よりも、ボランティアや来館の方々、役員に気軽に声をかけ、その意向や動向などを把握し、適切な調整役をはたして下さいました。大変尊敬できる人格者でした。

誠に残念なことですが、これまでお世話になりましたことを御礼申し上げますとともに、ご冥福をお祈り致します。

（高倉 記）



理事会に小林名誉理事長と並んで出席の浪花顧問

あとがき

文庫の活動がはかばかしくないと、文庫だよりで報告する事が少なくなるのも仕方がない。しかし、この号が出るころには図書館も再開しているし、新たな試みも進め、次号には報告できるようにしたい。そんな言い訳が先に立ち心苦しい。

多くの子どもたちが図書館で本を読んだり遊んだりすることを待ち望んでいたし、そこでお世話するボランティアのみなさんも「さあこれから」と心が弾んでいるだろう。多くの賛助会員のみなさんなど、賛同して支援してくれていることを思い、すべての子どもたちのために、今こそ動き出さねばとふきのとう文庫の仲間の気持ちを強くしていることを書き足す次第である。

（野田 記）

編集 公益財団法人ふきのとう文庫 代表理事 高倉 嗣 昌

〒060-0006 札幌市中央区北 6 条西12丁目 8

☎ 011-222-4839 FAX 011-222-4800

<http://www.fukinotou.org>

E-mail: fukinotoubunko@ceres.ocn.ne.jp

令和 4 年 3 月10日 発行

毎月10日発行一部100円（維持会費に含む）

昭和48年 1 月13日 第 3 種郵便物承認

HSK 通巻600号

発行人 北海道障害者団体定期刊行物協会

細 川 久美子

郵便振替 = 02720-3-2300 銀行口座 = 北洋銀行本店営業部普通預金 0035764 公益財団法人ふきのとう文庫

この機関誌は、“北海道共同募金会の配分”により刊行しています。
維持会員・寄付者のみなさん、ありがとうございました。